

OPT HOT MACHINE スペシャル

オレ流
**エタニティ宮川の
 チューニング・プロジェクト
 ス〜イスイ
 第六回 スープラで行こう!**

**ついに450psの
 ビッグパワーを獲得!
 クラゲを脱して本格派
 チューニングカーへ
 ステップアップだ**

参

Motors

バッチリ
決まったゼツ!

みんなあり、東京オートサロンに行ったか? オレのスープラちゃん、見てくれたか? そこそこチューニングカーっぽい仕様になってただろう。この1カ月で大きく成長したんだぜ。増設メーターにカーボンパネル、バケツシート。エンジンだつて大幅にパワーアップしたぜ!

**スープラと
 チューニング・奥の細道へ
 まずはKansaiの
 パネルキットでキマリ!**

東京オートサロンにクルマを出すことになってから約1カ月。遅れていたスープラちゃんのチューニングを慌戻あわせるためにもう大忙しよ。時間はないし、ましてや、どこのチューナーさんもオートサロンの準備と掻き入れ時ってことも

スープラデザインコンテストに応募してくれた兵庫県の渡部浩史君の作品をトリアルが製品化。そいつをオレのスープラに装着した! どーぞいつワケで詳細は次号につづく! だぶ〜ん。



あってso busy. そんな状態のなか、なんとかスケジューリングを調整して、オイラはスーブラチューニングの旅に出たってワケですよ。

最初に目指したのはHKS関西サービス。ここでは連成計他の増設メーター類の取り付けだ。なぜHKS関西サービスかっていうと、公崎向井先生のところへ助手席用エアバッグスペースにドンビシヤにはまりこむ、スーブラ用メーターパネルキットをリリースしてるからなのよ。谷田部の最高速テストの時にKansasaスーブラに取り付けられているのを見つかりとチェックノ。これが純正パーツみたいな出来の良さと超カッコイイんだ。ひと目見たその日から、「オイラのスーブラちゃんに絶対、付けてやる」って思ってたってワケ。

それにさ、オイラのスーブラには補器類のメーターがなんも付いてなかったから、どれくらいブーストがかかっているのか? 油温は? 油圧の状態は? ってこともわからなかったらう。やっぱり、本格的にエンジンチューニングに入る前に、しっかりとクルマの状態を知っておかないとね。

というワケで、HKS製ビークホールドメーターをこつちやりと仕入れ、一路HKS関西サービスへ。期待に胸を躍らせながら東名、東名阪とスーブラちゃんをカッ飛ばし、朝一番でHKS関西サービスに到着。さっそく作業に取りかかっていた。

取り付け位置はあらかじめ決めておいたとおり60φの連成計はインパネ内の左側エアコン吹き出し口に、エアバッグスペースの増設メーターパネルには左から46φの電圧、60φの排気温&油圧&油温を取り付けてもらう。連成計の取り付けにはちよつとしたポイントがあって、エアコンルーバーを加工して、ルーバーの外枠にメーターをはめこむんだ(写真参照)。

キモとなるセンサーの取り付け&配線はKansasaスーブラ号と同様の処理

CS-TOPの片桐さん他のチューナーさんもここに付けてるパターンが多い。きっちり取り付けられればこのようにメーターとインパネがツライチになるのでカッコいいゾ。HKSの60φコンパウンドメーターは3万6000円。もちろんビークホールドタイプだ



をしてもらった。連成計の圧力センサーはなんの問題もなし。油温センサーはオイルパン左側にドリルで穴あけ加工をし、センサーを埋め込み、配線を通して終了。問題となったのは油圧のセンサー。エンジンブロックのオイル出口が入り組んでいる上、周辺にはサブスロットル、ト



連成計をエアコン吹き出し口に取り付けたところを裏側から見た図。エアコンルーバーを一度外し、アミ目の部分を分解して取り除く。そこへゴムホースなどを巻き付けて外周が太くなったメーターをはめこむという仕組み。青く見える部分がゴムホースだ。



手でセンサーを差し込んでいるのが油圧の取出口。ここにクランプを取り付け、分岐させて、メーター用の圧力センサーを付ける予定だったが、このように入り組んでいる上、周辺には補器類が集中しているため取りまわしが難しい。作業も大がかりなものになってしまうので、今回は断念した。

これが公崎向井先生のスーブラ用メーターパネルキットだ。助手席用エアバッグスペースにドンビシヤではまってるっしょ。価格は2万8000円(税別)、60φのメーターが4個まで入れられる。穴あけ加工は1穴につき1000円だ。オイラの場合、左からHKSのボルトメーター(46φ、1万6000円)、エキゾーストテンプレーター、オイルプレッシャーメーター、オイルテンプレーター(60φビークホールドタイプ、各3万5000円)をセット。下欄にはEVC(9万2000円)とSBC(4万5000円)を取り付けた。



スーブラの場合はエンジンルームが込み入っているんで、油温のセンサーはオイルパンに取り付けるのが一番いい。運転席側にはドレインボルトがあるので、反対側にドリルで加工し、取り付けた。

連成、油圧の圧力センサーはステータを自作し、エンジンルーム右手上の空きボルト穴を利用して取り付け。



ランクシオンコントロール、パワステなどが密集しており、クランプで立ち上げて、オイルラインを分岐させるのはかなり困難なのだ。クランプをつないでいくとオイル漏れやトラブルの原因にもなるし、もしオイルクーラーを取り付ける予定があるなら、センサーはそっちに付け

た方がきれいに仕上がりますよ」と言われ、しばし悩んでしまった。ゲッター鈴木の話では、「ノーマルターピンでも油温はかなり厳しいはずですよ。うちがテストした結果ではサーキットだと140℃くらいまでイッちゃいますからね。パワを出していくなら、さらにキツくなる

作業もいよいよ大詰め。メインハーネスの取り出し口を通すと、ちよつとグローブボックスの後ろ側に出てくる。グローブボックス&エアバッグスペースはボルト4個を外してそれぞれ上、下にずらすだけでポコッとはずれてしまう。これは簡単。



からオイルクーラーは必需品でしょう」と言うのだ。うう、そうだったのか。油圧のセンサーを取り付けるのがこんなに大変だったとは知らなかった。わがままを言って、補器類を取り外し、無理矢理取り付けしてもらったことできるけど、オイルクーラーを付けるときに、もう一度大きな作業をすることになるのなら、とりあえず今



配線の引き込みはこのように。連成、油圧、油温でEVCの配線まで通さなくてはならないので、全部でかなりの太さになる。でもこつこつたことは一度にやっつけてしまったほうが効率いいもんな。

トライアルMARK II

トライアル ☎0722-54-7339



スポーティさ
強調エアロで
激マークの
走り屋仕様完成



マークIIもここまでスポーティになるって見本のような仕上がり。レーシングマシンのような迫力エアロと、17インチホイールに前後異サイズのタイヤがムード満点。

Z1-Rロードスター-by TRIAL

トライアル ☎0722-54-7339

マフラーはトライアルオリジナル101㍉車検対応。サスもオリジナルタイプを装着。センターロックタイプのアクロススポーツZ1-Rホイールが光っているぜ。



さりげない
エアロに
ちよいスバイスの
走り味



ドレスアップカー部門

最新エアロのキーワードは、「明快なカタチ」、「主張を持ったライン」。NEWカーだって絶対ターゲットで当たり前、レトはもアウアンギヤルドもオートサロでイッキ乗り!!

速さを超えた過激さを演出する
スムーズ&マツシフフォルム!!



内容的には大胆な造形のエアロだが、なにかサッパリした印象なのは、アクリルのカバーが付く角形4灯式に変更されたヘッドライトの効果。が、ノーマルより5cm低められ、スタイルとダウンフォースの向上を同時に果たしたリヤスポイラー、大型ながらもシンプルな面で構成されたフロントスポイラーやサイドプロテクターも影響大で、実に大胆機能的エアロなのだ。

一見走りぶらそうに見えるフロントスポイラーだが、実用面を損なわないギリギリの線でデザインされているのだ。

WISE SPORTS SUPRA

ワイススポーツ ☎0427-75-7749



ええなあ〜、
OPTIONブースは
ステッカー引き換えて、
スペースギヤルの手に
触りまくりや!!



NISMO
スカイライン GTS

ニッサン・モータースポーツ
インターナショナル
☎03-3767-1123

注目のR33スカイラインはシンプルだけど迫力でキメてある。ショック&30mmダウンスプリングやブッシュで足を固め、クラッチやLSDを強化、ヴェルディナマフラーも装着する。一方、室内はオリジナルレカロや365タイプステア、300km/hメーター、チクンシフトノブと、その気になること請け合ひだぜ。

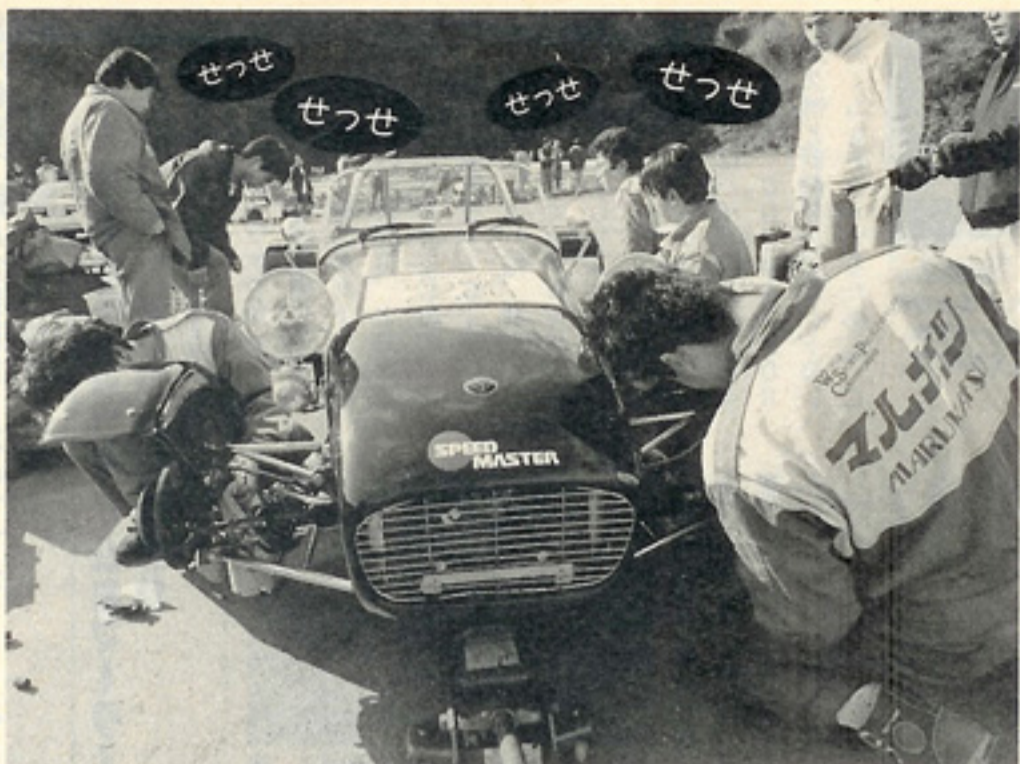


スカイラインは
やっぱりこうだ、って
感じて走りの
イメージ、ムンムン!



OPPTハイパー ☆ エロチカ ☆ セヴン号の4時間耐久レース参戦記

マルカツワークスのフルサポートを受け、サーキットでの体制は万全。事前テストから今回のレースまで継続して使用しているオイル「スピードマスター」の販売元OEGからのスポンサーにも決まり、本格的なレース参戦となったのだが……。



「ワリヤ、どかんかいッ！」マルカツ金子ちゃんのドライブは鬼気迫るものがあります。やっぱり関西のお方はラテン系のように……。これじゃ誰だって譲ってまうわな。



赤旗中断中にトライアルのマッキー一枚原にプレッシャーをかけられるの図。



マシンのテストとはいえ、レースはレースなんだから、作戦会議はさつちりやります。「耐久なんだし、クルマ壊したら元も子もないから無理はやめましょう。無茶な追い越しはしないで、やるなら1コーナーでいきましょうね。な〜んて話してただけだね。

よりによってカーナンバーと同じ23番グリッドを引いてきたエタニティ宮川。ケツから7番目ですよ、ケツから。これじゃいさぎよく逆ポールの方がカッコ良かったゾ。



てマルカツの。なめたらあかんてえ。金子ちゃんといった面々、マシンメンテ&サーキットサービスはマルカツワークスのフルサポートという万全の状態だが(ドライバーが不安?)、なにせ4時間の耐久レースだもの、なにが起ころって不思議はないぜ。

おまけにいくらここでいいタイムを出しても、スターティンググリッドは予選タイムではなく、クジ引きで決まってしまうのだ。しかもエタニティが引いてきたクジ番号は、な、な、なんと30台中23番手。「イヤアアな予感ほしてたんだよね」と言いつつ、この責任をとってスタートドライバーはエタニティ宮川にキマリ!

スタートは難なくクリア。やっぱり車重が軽いつてーのはこういうときに効くね。2速にフチこんだら、他のクルマは軽くバスですもの、オ・ホ・ホ・ホ……。

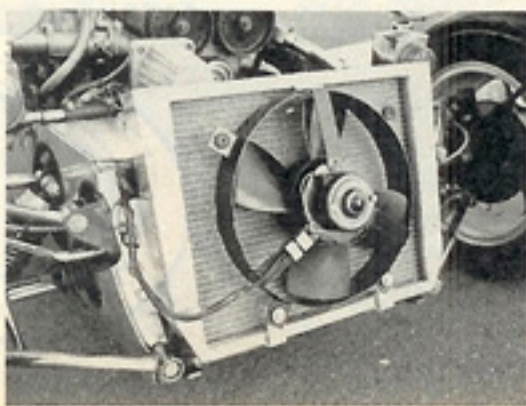


手前がノーマルのフロントアームで、装着しているのが今回テストしたロングアームだ。写真ではわかりにくい、この効果は絶大。コーナリング中のクルマの姿勢が安定し、極端なリバーステアも打ち消された。操舵感のヌケもきれいになくなり一石三鳥って感じだね、こりゃ。

午前十時、各車ともスターティンググリッドに並べられ、全車一斉にスタート。1コーナーで他車がスピン、多重クラッシュを起こし、大混乱の中、OPPTハイパー☆エロチカ☆セヴン号はちゃっかり6番手にジャンプアップ。だが赤旗が出てしまい、ピットから再スタートに。

しかし、ここでもナイスなスタートを決め、3周めには3番手、7周めには2番手につけ、残すはスズキポデイのEF3、1台だけだ。コイツも最終コーナーで詰めて、1コーナーでバス。フロントのロングアームが効いて、コーナリングスピードが上がっているのが有利に働いた。

バトルからトップ快走へ しかしスタート直後の接触が響いたせ



この季節なのでオーバヒートの心配はないのだが、耐久レースということも考慮し、94年モデルでは純正採用されているアルミの5層ラジエターに交換。これだけでも結構な軽量化につながっている。

最終コーナーからスピードをのせ、1コーナーで抜かす。この繰り返してなんとか3番手まで詰めることができた。

ここまでの展開を見ると、セヴンのコーナリングスピードが他車よりはるかに速いのは確か。だが、周回遅れに引っかかると、これを生かすことができない。いくらテストとはいえ、優勝の二文字がちらついてくるとねえ。

フワケで、「ステディな走り」でテストに徹する作戦、から大胆にも作戦変更! その名も「どこでも抜き抜き大作戦」だ!

フロントをワイドトレッド化し、車重の軽いOPPTハイパー☆エロチカ☆セヴン号ならコーナリングのラインは他車より絶対的に広いはず。ここは一発、周回遅れを気にせずにガンガン飛ばしまくって抜きまくるしかない! 1コーナーといわず、ブラインドの3コーナー、ヘアピン、最終コーナーでも仕掛けて抜きまくるのだ!

FEED アフラックスカブリオレ

藤田エンジニアリング ☎0729-49-1313

プリスターと
フラットボンネット
シンプルに
決めるぜ



一見するとなんてことないFC3Sだけど、プリスターキットとフラットボンネットで差を付けている。RHC6タービンなどでパワーも350psだ。

バリュースポーツ スーパーレジェンド

シルエットボーイ ☎0427-51-4511

エグゼクティブサルーンのレジェンドでここまでやると、ちょっとコワイ。低く構えたスタイルに、ライトのマップタ(?)がニラんでいるみたいだぜ。



これでベンツの
フルスモーク
にも負けなさい!

バリュースポーツ NEWアコード

シルエットボーイ ☎0427-51-4511

優等生のアコードが
ちよつと不良に
変身なのだ



大きく下に張り出したフロントスポイラーが凄味を感じさせる。足まわりはオリジナルのロースタイルサスペンションを組む。エンジンはノーマル。

TBO プリスターシルビアSX

TBO ☎03-3676-3735



プリスター
フォルムは、
SXマスクに
お似合いなのだ。



180SXのふりをしたシルビアだ。180SX用のフロントバンパー—体式スポイラーにプリスターキットをフィッティング。K26ターボチューンもプリプリだぜ!

トライアル スーブラ

トライアル ☎0722-54-7039

エンジンは420psまでチューン。迫力エアロパーツは、独創的なりやダブルウィングがタダものでないことをアピールする。タイプIIダンパーにF10kg/R8kgの springsで締め上げた足まわりに、ポルクレーシングCV PRO19インチホイール&F&R255/30サイズのヨコハマ・ネクサスを履いた姿はまさに圧巻もの。



OPT読者の
アイデアいただき
その名もカッ飛び
スポイラーだい!



HASEMI SPORT NEW SILVIA K's

ハセミ・モータースポーツ ☎0462-86-3801

実戦イメージの
ホイールデザインも
マルチに
フィットだ



フロントスポイラーもさりげなく決めたS14は、ハセミスポーツホイールを前後異デザインでセットアップ。サスペンションチューンもいよいよ全開だ!

オートビスタ マークII

オートビスタプロジェクト ☎03-5462-2161

シックに決めるエアロフォルムは、FR&サイドスポイラーのセットアップ。215/45&235/40サイズのRE710をはくZEIT17インチホイールもきっちりフィット。



さりげなく、
精悍さを語る、
ジャスト
フィッティング

私は誰でしょう。
正解の方には、
プリッツステッカーを
抽選で10枚贈呈。(正解は次項に)



RE雨宮AMKREAD FC3S

RE雨宮自動車 ☎03-3649-1604

今だからこそ
FC3S、
チューニングして
全開だぜいノ



人気のFC3Sを雨さん流にモディファイ。フルエアロはもちろんのことエンジンもTD06でハイレスポンスチューンされているのだ。

プロジェクトM・BOMEX AE101レビン

プロジェクトM ☎0471-43-7611

レビン・トレノと言えばやっぱりカッコも走り屋したい。AE101だってBOMEXエアロで仕上げればこんなにカッコ良く仕上がるんだぜ!



AE101レビンを
アップとスポーティに
仕上げてみました。

BOMEXユーノロードスター V.specスペシャル

アリゲーター ☎03-3657-5033

チョット強ワリな
ドレスアップ
ポリリウム感も
ついてます

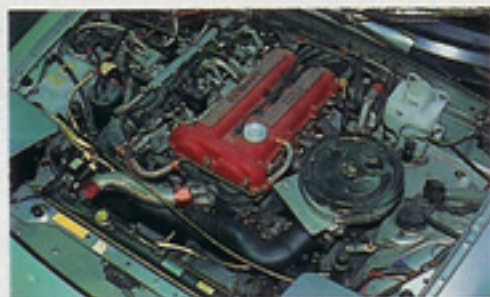


フロントのバンパースポイラーが特徴的。スパルタンで派手〜って感じたが、リヤへの流れはまともアリ。ホイールにOZのチョイスもピッタリ。

K・G・WORKSロードスター

北川製作所 ☎045-471-5355

クロームメッキのメッシュを多用して、ちょっとレトロチックなムードで迫るロードスター。ワイヤーホイールを始め、インテリア、エンジンルームにまでそのコダワリは止まることを知らない勢いだ。リベット止めの、イカニモといった感じのオーバーフェンダーがいい味出してるよネ。



凝りに凝った
テイルゲット
オーバーフェンダーが
なかなかです



RE雨宮 GREIFF-7

RE雨宮自動車 ☎03-3649-1604



ADフェイスチャー
キットでFDを
美しく仕上げ
てみました。



やっと揃ったRE雨宮ADフェイスチャーキットをフル装備してドレスアップ。FDオーナーにはとても参考になる仕上がりになっているのだ。

スズキスポーツ・ツインエンジンカルタス

モンスターインターナショナル ☎03-3304-7789

大型Fスポ
&Rウイングが
超ド迫力の
怪物4WDだ



'93バイクスピークでコースレコード更新、総合2位となったマシンだ。エンジンを2基搭載し、約800psを絞り出す。中央配置シートのスパルタンコクピットは圧巻。

トヨタエスティマ アズーロ

フレックスオート横浜 ☎0463-54-8200

フレックスオートがエスティマをエアロチューン。室内だってウッドパネルに電動レカロ、ホイールはなんとBBSの18インチというビックリもの仕上がりなのだ。



RVの
エスティマだって、
個性発揮の
ドレスアップだノ

コイツは売れるで。
(10万円で蔵、
建てさせてもらいま!?)



「OPTニュー・スーパー・スペシャルメイク・コンテスト」で見事、実現賞を獲得した茂部クンに、デザインを具現化してくれたトライアルより10万円の旅行クーポン券が贈られたのだ。